

中 学 2 年 道 徳 授 業 案

日 時 平成26年2月28日(金) 6校時
 生徒 2年B組 男子18名 女子19名
 授業者 足立英世
 授業場 2年B組教室

1. 主題名 「望ましい勤労観」 内容項目4-(5)

2. 資料名 「江戸切子への道」

3. 本時案

(1) 本時の目標

「働く」ということが自分の幸福のみならず、他者のためにつながるということに気付かせ、勤労の尊さや社会貢献の大切さを重んじる心情を養う。

(2) 本時の学習展開 ◎…中心発問 ○…発問 △…補助発問 □…指示, 説明 []…予想される反応

主 な 学 習 活 動	教 師 の 働 き かけ	評 価・備 考
1 職場体験学習の振り返りから、社会における自己の勤労経験を想起することができると感じる。 []…自分の勉強になった。面白かった。等。 []…お客さん(利用者, 患者等)の役に立てた。	□ (職場体験のアンケートから抜粋し,) 当時の達成感や壁にぶつかった経験を思い出しましょう。	
2 実際の勤労体験や、将来目指している職業を念頭に置き、自分の勤労意欲を喚起するものは何か考えることができる。 []…給料が良い。/休日がある。/雰囲気が良い。/仕事内容が面白い。 []…趣味・特技が活かせる。/興味・関心がある。/社会的に知られている。 []…地元でできる。/都会で暮らせる。	○ 将来自分が働く場として、望むことは何ですか。 △ これなら仕事を続けたい、と思えるような要素を考えてみましょう。	
3 資料「江戸切子への道」(前半)を読み、横井さんの職業に対する考え方の変化をとらえることができる。 []=「お客さん」 []…自分の得意なことを生かしたいな。 []…きれいな江戸切子をつくるのはやりがいがあるぞ。	□ 資料を読みます。 ○ []に共通して当てはまる言葉は何だろう。 △ 横井さんは中学生の頃、将来の仕事にどんな希望を持っていましたか。 △ 江戸切子職人になるときは、どんな気持ちを持っていましたか。	◆横井さんが憧れた師匠の職業人としての在り方が、「他者のため」という意識の表れであることをおさえているか。

<p>4 資料「江戸切子への道」(後半)の内容を聞き、横井さんが改めた姿勢についてとらえた上で、自分の価値観と向き合うことができる。</p>	<p>□ この後、横井さんは独立し、自分の工房を構えます。次第に売り上げは伸び、経営は順調でしたが、一件のクレームにより思い悩むこととなります。</p>	<p>◆たった一度の失敗を重く受け止めた横井さんの信条をとらえ、自分事として判断しているか。</p>
<p>〔資料後半の口頭説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出来映えの確かめ不足で、模様のずれがあった。 • 大切なお客さんに紹介された人の依頼だった。 • 横井は四十歳になっていた。(家族もいた。) • 「売り上げ量が減っても、自分の目で一つずつ確かめる」か、「これまで通りの方法で売り上げを伸ばしていくか」考えた。 		
<p>• 横井さんのように一人一人のお客さんの要望に間違いなく応える作品を作る努力をする。</p> <p>• 収入が減るのは困るので、今後は慎重に作ることにして、体制は変えない。</p>	<p>○ 皆さんが横井さんの立場であったなら、これまでのやり方を変えますか。</p> <p>△ 生産が遅くなり、確実に売り上げは落ち込むということを考えていますか。</p> <p>△ 一件ごとの失敗を重ねれば、信頼はみるみる落ちていくということを想像しているでしょうか。</p>	<p>• WS 配付</p> <p>• 記述</p>
<p>5 授業開始時に考えた仕事に対する思いに立ち戻り、その変容の有無と向き合うことができる。</p>	<p>◎ 人が「働く」上で大切なことは何でしょうか。</p>	<p>◆自分の働きが自らの幸福と同時に、他者のために生きるということに気がついて</p>
<p>6 本時の学習を記述によって振り返ることができる。</p>	<p>□ 本時の振り返りをして下さい。</p>	<p>• 記述</p>
<p>7 教師の説話を聞き、学んだことを反芻することができる。</p>	<p>□ 先生から一つ、話があります。</p>	<p>◆自分の働きが自らの幸福と同時に、他者のために生きるということに気がついて</p>